

仕様書 別紙 1 別添（事業内容詳細）

1 事業Ⅰ 次世代を担う若年者の不足が見込まれる企業における人材確保支援について

(1) Ⅰ① 若年者の人材確保を中心とした企業説明会

①実施回数

実施回数 16 回（大学生等 9 回 高校生 7 回）＋動画配信

②実施内容

以下のア～ウについて、共通事項に留意の上、実施すること。

ア 大学生等を対象とした企業説明会「やまぐち企業合同就職フェア」

（対面形式、大学生等対象 3 回）【4、3 月】

卒業年次の大学生等及び一般求職者を対象とした説明会を、説明会を運営する各商工会議所（山口会場は山口県経営者協会）等の関係者と連携し、以下の日程等により実施すること。

対象者：令和 9 年 3 月大学・短大・高専・専修学校等卒業予定者及び一般求職者

開催日	開催場所
4 月 18 日(土)	シーモールホール (下関市竹崎町 4-4-8)
	時間 13:30～16:00
4 月 22 日(水)	ホテルサンルート徳山 (周南市築港町 8-33)
	時間 13:30～16:00
3 月未定	KDDI 維新ホール (山口市小郡令和 1-1-1)
	時間 未定

(留意事項)

- ・実施にあたって行われる打合せに出席すること。
- ・「7 事業実施に必要な経費について」に基づき、会場費の半額を当該事業経費で負担すること。
- ・説明会周知用チラシをホームページに掲載する等、実施に係る広報を行うこと。

イ 高校生を対象としたガイダンス「名称未定（4 月以降提示）」

（対面形式、高校生対象 7 回）【6 月】＋動画データ配信

高校生を対象としたガイダンスを、以下の日程等により実施すること。なお、対

象は主に卒業年次の高校生とするが、卒業年次前の高校生も対象に含めること。

また、あわせて、令和8年3月新規高卒予定者を募集する企業から「企業PR動画」を収集し、県内高校に動画データを配付すること。

対象者：令和9年3月高等学校卒業予定者及び卒業年次前の高校生

開催日	開催場所
6月9日(火)	岩国国際観光ホテル ロイヤルホール (岩国市岩国 1-1-7) ※生徒待合室として、錦雲閣を使用可能。
	時間 14:30~16:30
6月10日(水)	KDDI 維新ホール メインホール (山口市小郡令和 1-1-1) ※生徒待合室として、会議室205を使用可能。
	時間 14:30~16:30
6月11日(木)	萩市民館 小ホール+第1会議室 (萩市大字江向 495-4) ※生徒待合室として、大ホールを使用可能。
	時間 14:30~16:30
6月15日(月)	ほしらんどくだまつ 2Fサルビアホール (下松市大手町 2-3-1) ※生徒待合室として、交流室5A・Bを使用可能。
	時間 14:30~16:30
6月16日(火)	国際ホテル宇部 3Fダイヤモンドホール (宇部市島 1-7-1)
	時間 14:30~16:30
6月18日(木)	海峡メッセ下関 1F展示見本市会場 (下関市豊前田町 3-3-1) ※生徒待合室として、全面のうち半面を使用可能。
	時間 14:30~16:30
6月19日(金)	海峡メッセ下関 1F展示見本市会場 (下関市豊前田町 3-3-1) ※生徒待合室として、全面のうち半面を使用可能。
	時間 14:30~16:30

(留意事項)

- ・ガイダンス時における参加高校生の待機場所を設けること。
- ・会場との連絡調整は契約締結後、職業安定課から受託者に引き継ぐこと。なお、天災等によりやむをえず実施会場を変更する必要がある場合は、変更前に速やかに労働局担当者と調整すること。
- ・ガイダンスの実施にあたっては、山口県教育庁等、関係機関と連携すること。
- ・企業 PR 動画の収集にあたっては、説明会参加企業だけでなく、幅広く動画収集を実施すること。

ウ 大学生等を対象としたオンライン企業説明会「ふるさと山口 WEB 就職フェア」

(オンライン形式、大学生等対象 6 回)【6～11 月】

卒業年次の大学生等及び一般求職者を対象とした説明会を、6 月から 11 月までの毎月 1 回(全 6 回)実施すること。

なお、実施日時・規模等は、関係機関と協議の上決定すること。

対象者：令和 9 年 3 月大学・短大・高専・専修学校等卒業予定者及び一般求職者

③共通事項

上記の実施に当たっては、以下のア～オに留意すること。

ア 会場の選択が任意である会場については、参加対象者の収容人数、公共交通機関等の利便性を考慮した会場とすること。また、参加企業の駐車場が十分確保可能な会場とすること。

イ 企業が参加することでメリットを感じることができるよう工夫すること。

ウ ユースエール認定企業に必ず案内を行うとともに、優先的に参加させること。また、企業説明会の中で、参加したユースエール認定企業の PR を図ること。

エ 参加対象者が当日面談する企業の選定がしやすくなるよう、対面形式の事業においては、当日配布可能なガイドブックを作成するとともに、選定のフォローアップとなる取組を実施し、より多くの企業との面談を促す工夫をすること。

(例：当日参加企業に係る業種等によるフローチャートの作成又はタブレットを活用した企業検索、説明会開始前に企業 PR タイムの実施、待合席での参加企業 PR 動画の放映 等)

オ 参加対象者のニーズを捉えた実施内容及び周知方法により、より効果的に情報発信を行い、参加者数の増加に向け工夫をすること。

(例：国・県・市を中心とした公務員特化型の相談コーナーの設置、各種 SNS を活用した情報発信 等)

(2) I ② 企業の人事担当者を対象とした採用力強化セミナー

①実施回数

実施回数 1回

②実施内容

採用力強化セミナー「人事担当者向けセミナー」

(任意形式、企業 1回)【6月または7月】

企業の人事担当者を主な対象としたセミナーを実施すること。

なお、対象企業は、基礎素材型に特化した製造業の企業を中心に、人手不足に悩む中小企業を幅広く選定すること。

2 事業Ⅲ UIJターン就職に係る支援について

学生等の夏期休暇帰省時期を活用した地元企業における企業説明会

①実施回数

実施回数 1回+Instagram 発信 月2回以上

②実施内容

以下のア、イについて実施すること。

ア 大学生等を対象とした企業説明会「ふるさと山口Uターン就職フェア」

(対面形式、大学生等対象 1回)【8月】

卒業年次の大学生及び一般求職者を対象とした説明会を、山口市内で実施すること。

なお、実施日時・規模・会場等は、本事業の過去の実績やその時の内定状況等を勘案し、関係機関と協議のうえ決定すること。

(留意事項)

- ・「7 事業実施に必要な経費について」に基づき、会場費の半額を当該事業経費で負担すること。
- ・会場については、参加対象者の収容人数、公共交通機関等の利便性を考慮した会場とすること。また、参加企業の駐車場が十分確保可能な会場とすること。
- ・企業が参加することでメリットを感じることができるよう工夫すること。
- ・ユースエール認定企業に必ず案内を行うとともに、優先的に参加させること。また、企業説明会の中で、参加したユースエール認定企業のPRを図ること。

- ・参加対象者が当日面談する企業の選定がしやすくなるよう、当日配布可能なガイドブックを作成するとともに、選定のフォローアップとなる取組を実施し、より多くの企業との面談を促す工夫をすること。
- ・参加対象者のニーズを捉えた実施内容及び周知方法により、より効果的に情報発信を行い、参加者数の増加に向け工夫をすること。

イ Instagram 発信

当事業の Instagram アカウントを運営し、県外大学等へ進学した学生に対して、県内の魅力発信を月に 2 回以上行うこと。

(留意事項)

- ・Instagram アカウントについては、労働局が作成したアカウントを使用すること。
- ・運営にあたっては、山口労働局「若年者地域連携事業 Instagram」運営要領及び運営方針に沿って運営すること。
- ・事業の終了後、速やかに労働局へアカウントを返還すること。
- ・県内の魅力発信とは別に、当事業における企業説明会等の周知を行うことは可能であること。

3 事業Ⅳ 地域の人材流出防止・地元定着に係る支援について

(1) Ⅳ① 若者に対する入社前から入社後における定着支援セミナー

①実施回数

実施回数 15 回以上

②実施内容

(対面形式、15 回以上)【7 月、9 月、2 月、3 月】

若者に対する入社前から入社後における定着支援セミナーを、以下の日程により実施すること。

なお、実施日時・規模・会場等は、関係機関と協議のうえ決定すること。

対象者	開催日	実施回数	実施場所 (例)
入社前の者 (内定者)	3 月	4 回以上	山口、下関、周南、岩国
入社 6 カ月目の者	9 月	5 回以上	山口、下関、防府、周南、岩国
入社 2 年目の者	7 月	4 回以上	山口、下関、防府、岩国
入社 3 年目の者	2 月	2 回以上	宇部、周南

(留意事項)

- ・セミナー内において、社外同期作りに資するものとなるよう、グループワーク形式など、参加者間で交流できる機会を設けること。
- ・セミナー講師については、事業の目的を達成するのに十分な実績と能力を兼ね備えた者を講師として選定すること。
- ・セミナーで使用した資料については、参加者が振り返りに使用できるよう、返却を求めないこと。

(2) IV② 卒業年次前の者を対象にした地域の企業研究

①実施回数

実施回数 3回

②実施内容

以下のア、イについて実施すること。

ア 大学生等を対象としたガイダンス「山口きらめき企業の魅力発見フェア」

(対面・オンライン形式、大学生等対象 1回)【7月】

大学生等を対象としたガイダンスを、運営する大学等の関係者と連携し実施すること。

(留意事項)

- ・会場費等の費用の一部を、当該事業経費で負担すること。なお、会場は未定であるが、令和7年度と同会場であることを想定し、入札金額は30万円で見積もること。

イ 大学生等を対象としたガイダンス「名称自由」

(対面形式、オンライン形式、大学生等対象 2回)【2月】

卒業年次前の大学生等を対象としたガイダンスを、対面形式及びオンライン形式で、それぞれ1回実施すること。

なお、実施日時・規模・会場等は、本事業の過去の実績やその時の内定状況等を勘案し、関係機関と協議のうえ決定すること。

(留意事項)

- ・会場については、参加対象者の収容人数、公共交通機関等の利便性を考慮した会場とすること。また、参加企業の駐車場が十分確保可能な会場とすること。

- ・企業が参加することでメリットを感じることができる内容を検討すること。
- ・ユースエール認定企業に必ず案内を行うとともに、優先的に参加させること。また、ガイダンスの中で、参加したユースエール認定企業のPRを図ること。
- ・参加対象者が、当日面談する企業の選定がしやすくなるよう、対面形式の事業においては、当日配布可能なガイドブックを作成するとともに、選定のフォローアップとなる取組を実施し、より多くの企業との面談を促す工夫をすること。
- ・参加対象者のニーズを捉えた実施内容及び周知方法により、より効果的に情報発信を行い、参加者数の増加に向け工夫をすること。

4 事業の共催・後援について

事業の実施にあたって、各事業を実施する前に、関係機関に共催または後援の依頼を行うこと。

なお、各事業の主催、共催及び後援依頼を行う期間については、受託者の決定後に示すこととする。

5 参加者受付票について

各種説明会等で使用する「参加者受付票」については、以下のア～ウに留意し作成すること。また、その内容については、作成前に労働局担当者と協議すること。

ア 性別については、自由記入（未記入可）又は任意選択式とすること。

イ 説明会は選考の場ではなく、あくまでも企業と求職者の出会いの場を提供するものであることから、個人情報や採用選考につながる項目（在学学校名や資格・免許、自己PR欄等）の記入欄は必要最低限とすること。

ウ 採用選考スケジュールにおいて、広報活動や採用選考が解禁される前の大学生等及び高校生については、受付票を企業に提出しないものとし、説明会開始前等において参加企業にその旨を周知すること。

6 ガイドブック等における求人情報の提供について

採用選考スケジュールにおいて、求人情報の提供が解禁される前の大学生等及び高校生については、募集予定の求人に係る情報を提供できないことから、ガイドブック等の掲載情報や配布について十分留意すること。特に6月に実施する高校生向けのガイダンスについては、全ての対象者が解禁前となるため、募集予定の求人情報及び文書募集に抵触する表現は掲載しないこと。

7 事業実施に必要な経費について

以下のア～ケの経費は、事業の実施にあたり必要な経費を例示したものであり、その他必要と思われる経費は受託者で検討し、入札金額を見積もること。なお、見積もりに当たっては、あらかじめ「令和8年度若年者地域連携事業」の実施に係る仕様書の14を確認すること。

また、4、3月実施の「やまぐち企業合同就職フェア」、8月実施の「ふるさと山口Uターン就職フェア」は、連携する各経済団体や山口県と経費についての取り決め事項があるため、留意すること。

ア 職員旅費

イ ポスター（4、3月開催分は経済団体が負担）

ウ チラシ（4、3月開催分は経済団体が負担）

エ ガイドブック（4、3月開催分は、経済団体が負担）

オ 看板（4、3月開催分は経済団体が負担）

カ 消耗品

キ 郵便料【企業案内用】（4、3月開催分は経済団体が負担）

ク 会場料（4、3月開催分は経済団体、8月開催分は山口県とそれぞれ折半）

ケ 広報費【ホームページ掲載、TV・ラジオCM、地域情報紙、新聞等】

8 周知・広報について

（1）説明会等において外部へ提供する著作物（文書、要領、チラシ、教材等）は、その内容についてあらかじめ職業安定課の確認を受けること。

（2）支援対象者への周知について

支援対象者への周知については、受託者が持つネットワークを活用するほか、県内大学等の学生支援部門を訪問するなど、新規のネットワークを開拓し、幅広く周知を行うこと。

なお、ハローワークへの周知依頼は、原則職業安定課から行うため、不要であること。

（3）企業への周知について

企業への周知については、受託者が持つネットワークを活用すること。なお、前年度参加企業への周知漏れがないよう、職業安定課から前年度参加企業の配席図等を提供する。

また、本契約期間終了後、周知企業及び申込企業を一覧表にした上で、職業安定課に提供すること。

(4) チラシ、ホームページ等のデザインについて

チラシ、ホームページ等については、周知対象の多くが若年者であることから、若年者の興味を引くデザイン、レイアウトとなるよう工夫すること。

なお、ホームページのデザイン、レイアウトについては、利用者がスマートフォンやタブレットで閲覧しやすいよう工夫すること。

(5) ホームページの運営について（仕様書 20（7）参照）

以下のア～オに留意し、ホームページを運営すること。

ア 厚生労働省サブドメイン「mhlw.go.jp」を使用すること。

イ 厚生労働省情報セキュリティポリシーを遵守すること。

ウ 個人情報保護方針、サイトポリシー及び著作権に関するページを作成すること。

エ ドメインの取得をはじめ、職業安定課に依頼された手続きについては、速やかに対応すること。

(6) Instagram の運営について

以下のア～に留意し、Instagram を運営すること。

ア 職業安定課が提供するアカウントを使用すること。

イ 厚生労働省情報セキュリティポリシーを遵守すること。

ウ 山口労働局「若年者地域連携事業 Instagram」運営要領及び運営方針を遵守すること。

エ アカウントの取得をはじめ、職業安定課に依頼された手続きについては、速やかに対応すること。

(7) その他 SNS の使用について

現在運用されている SNS は「Instagram」のみであり、その他 SNS の使用に当たっては、厚生労働省へ申請を行う必要があるため、事前に職業安定課と協議すること。

9 実施状況の報告について（仕様書 7 参照）

若年者地域連携事業における四半期毎の実施状況を職業安定課に報告すること。

また、参加者や企業に対してアンケート等を実施し、内容の検証を行い、より一層のサービスの向上に努めること。なお、アンケート等の実施結果は職業安定課に共有すること。

10 定例会議について（仕様書 20（5）参照）

定例会議の具体的な日程及び実施形式については、職業安定課と調整すること。

11 その他留意事項

その他、以下のア～キに留意すること。

- ア 各事業の開催時期における厚生労働省の指針に沿って事業を実施すること。
- イ 事業の計画及び実施にあたり、山口労働局及び山口県と緊密に連携すること。
- ウ 事業の実施にあたり、公共職業安定所（山口新卒応援ハローワーク含む）、山口しごとセンター等、関係機関と連携すること。
- エ 他の行政機関等が行う若年者雇用対策事業との連携を図ること（あらかじめ労働局と協議すること）。
- オ 大学生等及び高校生の採用選考スケジュールを確認すること。
- カ ユースエール認定制度等の事業の実施に係る制度については、必ず最新の情報を確認しておくこと。
- キ その他事業の実施内容について疑義が生じた場合は、メールなど記録が残る方法で職業安定課に確認すること。